広告

廃業の危機を救った1粒

ドンドン楽になって、昔みたいに農作業がこなせるようになった！

静岡県　久保田 博さん 63歳

現在、日本の農業人口は約250万人。そのうち、65歳以上の人の数は150万にものぼるという（平成24年 農林水産省統計）。後継者不足も手伝って、今後ますますの高齢化が予想されるが、彼らのからだにも限界は訪れる。中でも、ひざ・腰の悩みは切実だ。からだの自由が利かなくなれば、満足な農作業はもはや望めないだろう。

突然襲ってきたつらさ 歩くことさえ困難に

静岡県にお住まいの久保田博さんは、夏は稲作、冬はレタス栽培を営む専業農家。今年63歳で、サラリーマンなら定年を迎える頃だ。

「最近は色んな作業を機械がやってくれるようになったけれど、それでも手作業でしか出来ないことがある」

そう話しながら、大量のレタスの苗木を次々と運ぶ久保田さんだったが、実は5年程前から、からだの衰えを感じ始めたという。

「右ひざがつらくなってね…。ほんの少し動かしただけでズキズキと疼くんだ。こうやってレタスの苗木を運ぶのさえ一苦労。小さな苗木が、すごく重たく感じた。ひざの関節に、ヒアルロン酸だっけ。あれは、何度通っても気休めにしかならなかった」

その後、軟骨成分のグルコサミンを飲み始めたというが…

「2年も続けたのに、ダメだった。その頃には普通に立ったり歩いたりも不便でね…」

〝廃業〟という最悪の事態が、久保田さんの頭をよぎったという。そんなある日のことだった。

予想を超える速さで からだに変化が…！

たまたま雑誌を開いた久保田さんの目に留まったのは、『駿楽』というサプリメントの広告だった。

「はじめは半信半疑さ。でも、これまで試してきたものと成分が違うことは読んで分かったから、飲み始めてみたんだ。1日1粒目安で、続けやすいと思ったね」

すると…！

「ちょうど一箱飲み終えた頃かな。つらさで毎晩のように目が覚めていたのに、しっかり熟睡できるくらい、楽になっていてね。『これはグルコサミンとは違うな』って思った。その後、しばらく飲み続けていたら、忙しい収穫期でもひざは全く気にならなかった。曲げても伸ばしてもなんともないんだよ！」

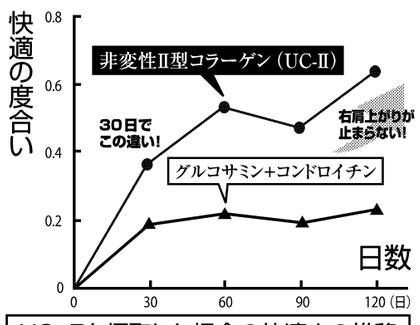
米ハーバード大学が研究した新「軟骨成分」

グルコサミンを超える 新軟骨成分「UC・Ⅱ」

久保田さんが絶賛する『駿楽』には、「UC・Ⅱ」という新素材が配合されている。このUC・Ⅱは、米・ハーバード大学やドイツ医療センターなど錚々たる機関によって研究されたもので、科学雑誌の権威「サイエンス」で特集が組まれるなど、世界的な話題を集めている。米国では既に5件もの特許を取得済だ。

UC・Ⅱの主成分は、「Ⅱ型コラーゲン」。ひざ腰を支える関節のクッション部分の、なんと80％以上を形づくっている。実は、あのグルコサミンやコンドロイチンは、わずか20％を占めるに過ぎない。Ⅱ型コラーゲンの方が優れているのは、一目瞭然である。

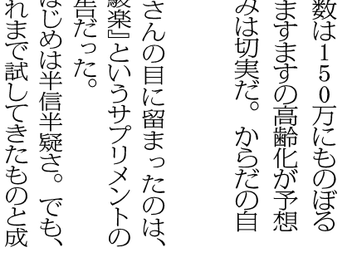
事実、ヒューストン大学らが、「UC・Ⅱ40mg」と「グルコサミン2000mg＋コンドロイチン1600mg」を比較したところ、UC・Ⅱが実感で上回っていると判明（左の折れ線グラフ参照）。わずか40mgという効率のよさも画期的で、サプリメント化された『駿楽』なら、飲用の目安は1日たった1粒だという。



UC・Ⅱを摂取した場合の快適さの推移
出典元：Food style21,11(2),25-30(2007)

1日たった1粒（目安） 実感が速いという特徴

グルコサミンやコンドロイチンでは満足できない方に、大きな喜びをもたらすUC・Ⅱだが、類似品が多い点に注意。Ⅱ型コラーゲンには2種類あり、そのひとつは変性タイプといって、関節のクッション部分へ届く前に消滅してしまう。しかし『駿楽』のUC・Ⅱは〝非変性〟Ⅱ型コラーゲンと呼ばれるもので、ひざ・腰まできちんと届き、関節のクッションとしてしっかり機能する。



体内のクッション部分の成分比率
出典元：FOOD Style 21, 10(9), 26-30 (2006)

最後にUC・Ⅱ、『駿楽』への信頼を、久保田さんは熱く語ってくれた。

「今日、農作業ができるのも『駿楽』のおかげ。あのとき頼んでいなかったら、今頃、廃業していたかもしれない。僕は、同業の連中には『駿楽』を飲むように薦めているんだ。飲み始めるなら、少しでも早い方が良いに決まっているからね」

二人三脚 夫婦健在

何を飲んでも消えなかったつらさが、1日1粒*でスッキリだよ！

「ここ数年ひざの調子が悪くなってね。原因は分かっているんだ…」

山本滋博さん（75歳）は、30代の頃にギックリ腰を患って以降ずっと、腰をかばって歩いていたという。それが、ひざのつらさへと繋がったようだ。

「ふらっと散歩へ行こうにも、ひざが笑っちゃって、脚を引きずる格好でさ。グルコサミンを1日に14粒、3年飲み続けたんだが、さっぱりだった」

そんな滋博さんを心配する奥様は、常日頃から、新しい対策を探していた。

「私は勤めが農協で、農業系の雑誌をよく見るんですけど、それに『駿楽』の広告が載っていて。〝1日1粒目安〟って珍しいからピンと来たんです。これは主人にピッタリだと思って！」

静岡県　山本夫妻

どんな方法でも改善できなかった、滋博さんのひざ。しかし、驚くことに…！

「飲み始めてから大して日も経っていないのに、気づいたら、嘘みたいに楽なんだ。すぐに散歩にも出かけられるようになってね。スイスイ歩いている僕の姿を見て、家内がたまげちゃって。『私も歳だから、予防で飲む』って言い出してさ（笑）」

『駿楽』によって、夫婦はひざ・腰の安心を手に入れ、明るく朗らかな生活を取り戻したのである。

*目安です

※個人の感想であり、使用感には個人差があります。

日本の稲作を支える

あのつらさは何処へ!? 田植えだってラクラク！

島根県　石橋 義明さん 72歳

【島根支局】18歳のとき以来ずっと、兼業農家として、先祖代々の田んぼを守ってきました。若い頃から働きづめ。朝起きて、まず田んぼ。会社へ行って帰ってきて、夕方からまた田んぼ。

ひざと腰がつらくなったのは、ちょうど還暦を迎えた頃です。特に、ひざはギシギシと鳴りましてね。田んぼに出るなんて、とてもとても…。階段の上り下りさえつらくてできない。専門家に相談しても根本的な解決策があるとは思えず、まだまだ働かなきゃいけないのに、お先真っ暗でした。そんな時、新聞の広告で見つけたのが『駿楽』。気休めのつもりで飲み始めてみたんです。

まだ、あまり日は経っていなかったと思います。階段は下りる時がつらいんですが、その日は平気なんです！重いものを持ってもズキッとこない！あぜ道もらくらく歩ける！それから続けるほど楽になり、田んぼの仕事も再開できました。田植えもスイスイこなせるから不思議。ぬかるみでもグッと踏ん張れるんです。

しかし凄い時代になりましたね。『駿楽』がある限り、生涯現役で頑張れそうです（笑）。

すっかり楽になって、稲刈りがサクサク進む！

山梨県　山本 久江さん 76歳

【山梨支局】嫁に来てから米作りの毎日。雑草を抜いたり稲を刈ったりは主人よりも得意だったので、私の担当なんです。農作業を何十年も続けていたら、からだはガタガタ。腰の下の、ちょうどお尻の上辺りがつらいんですよ。田んぼに出たら、少しでもマシな体勢で仕事をしながら、どうにかやり過ごしていました。すると今度は、脚がジンジンしてきて…。

去年の春のお彼岸に、親戚20人で集まって墓参りに行ったんです。私は誰よりも歩くのが遅くて、階段もまともに上れなくて…。すごく惨めな気持ちになりました。グルコサミンを3年続けていたんですが、それだけではダメだと思いました。そしたら、主人が「こんなのが新聞に出てたぞ」って、『駿楽』を薦めてくれて。

ちょうど2箱目を飲み終える頃くらいです。農作業の後も、脚の違和感をほとんど感じなくなったんです。稲刈りの時期がきたらどうしようかと悩んでいたので、ホッとしました。今では腰も絶好調で、どんな体勢でも仕事が楽！この先10年は安泰です（笑）。今年も豊作だといいですね！

グルコサミン・コンドロイチンとは違う

新・軟骨成分

UC・Ⅱ® 非変性Ⅱ型コラーゲン

1日たった1粒（目安）!!

●体内にある軟骨成分と同じ構造
●米国で5つの特許を取得

駿楽（しゅんらく）
内容量:229mg×30粒（約1ヵ月分）

9割以上の方に選ばれている お得な定期コース 3大特典

初めてのお買い物からおトクな定期コースなら
特典1 商品代金10%引き
特典2 送料500円無料
特典3 いつでも中止・変更ができる
※詳しくはお問い合わせください。

通常価格 1箱 8,640円（税込）【送料別500円】 ▶ 7,776円（税込） 送料無料　1,364円もおトク!

▼グルコサミン、コンドロイチンで満足されない方は、今スグ!

フリーダイヤル 0120-13-8869
【受付時間】午前8時▶午後9時　年中無休

FAX フリーダイヤル 0120-485-755【24時間受付】

〒351-0022　埼玉県朝霞市東弁財1-7-30 光陽ビル
（株）元気堂本舗「日刊工業」係

＜配送のご案内＞●送料は全国一律500円。●お届けは注文から1週間前後。●お支払いは郵便振替、コンビニ振込で商品到着後1週間以内に。または代金引換も可。但し3万円以上の購入は代金引換のみ。●返品は未開封のもの に限り商品到着から8日以内（送料はお客様負担）●個人情報の取り扱いは責任をもって厳正に管理し、目的外利用や、流出・漏洩などを防止します。

グルコサミンでは満足できない方へ

◆ハーバード大学発◆

1日たった1粒（目安）で、立てる！歩ける！農業ができる！

ひざ・腰のつらさは、今や日本の国民病。実は、40歳以上の3人に2人が悩まされているとさえいわれている（東大医学部22世紀医療センター調べ）。グルコサミンなど巷には対策が溢れているが、どれも決定打に欠けるのが現実だ。そんな中、あのハーバード大学が研究した軟骨成分が話題に。ある女性の声を通して、その驚きの実感をお伝えしたい。

和歌山のみかん農家に嫁いで、50年以上が経ちます。はっさく、ポンカン、温州みかん、セミノール。ひたすら、みかんを作り続けてきました。息子達は立派に育ち、孫も生まれたので、頑張ってきた甲斐はあったと思います。

でも、からだはガタガタでした。10年程前、収穫の時に木から落ちたみかんを拾おうとしゃがんだら、ひざがズキッとして…。それ以来気になって仕方ないので、いつも手でさすって紛らわせていました。毎朝、玄関の段差をまたぐ度にスキズキするんです。だからって私が畑に出ないわけにはいかないから、つらくてつらくて。ひざにサポーターを巻いたりグルコサミンを飲んだりしたけどダメで、何年も悩みの種でした。

グッと力が入るから、みかんの収穫もラクラク！

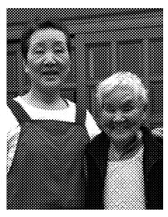
和歌山県 みかん農家　濱田 順子さん（75歳）

「自由に動けるだけで、ただただ幸せです」と笑顔で語ってくれた

最後にやっと出会えたのが『駿楽』です。「UC・Ⅱ」なんて成分は初耳でしたし「1日たった1粒目安なんて本当？」って思ったけど、なんだかピンときて。飲み始めてしばらくが過ぎた朝でした。からだ全体がフワッと軽くなっているんです。「これは！」と思い玄関に向かってみると、あんなにつらかった段差がサッとまたげる。全然つらくないから、つま先で立てて背伸びもできる。少し高い所のみかんも楽に摘めるんです。夢かと思いましたよ。『駿楽』のおかげで、まだまだみかんが作れます！

母と娘の感動秘話

私と母を救ってくれた


栃木県　母 小口チエさん（89歳）
娘 青木幸子さん（65歳）

ある日、犬の散歩をしていたら、いきなりひざに電気が走って、まともには歩けなくなったんです。でも、本当に驚いたんですけど、『駿楽』を2箱くらい飲んだら、つらいのが気にならないように！私の担当の先生は、もっと驚いたんじゃないかしら。だから、母にも薦めてみたんです。

近所の妹の家に同居している母は、腰が悪くて、杖なしでは生活できない状態でした。「もう私はダメだ」って、すっかり無気力で…。それが、母に『駿楽』の箱を渡して少し経ってからでした！母が私の家まで遊びに来たんです。見ると、杖を持っていなくて…夢かと思いました。あの時の嬉しそうな母の顔が忘れられません。

UC・Ⅱとは？

UC・Ⅱの成分は「非変性Ⅱ型コラーゲン」。名門ハーバード大学などが研究した、新軟骨成分だ。米国では既に5件もの特許を取得し、科学誌「サイエンス」でも話題に。

注目を集める理由は、このUC・Ⅱが関節のクッション部分の約80％をも占めていることにある。グルコサミンやコンドロイチンと比べてもその実感の差は証明済み。ひざ・腰のつらい悩みには、持っていの成分だ。現在、日本では『駿楽』というサプリメントとして入手可能。効率よく実感が得られるため、1日たった1粒目安で飲めばよいという。